



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル  
 コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	24,527	△0.1	1,205	△9.0	1,242	△2.4	702	△9.0
29年3月期第2四半期	24,550	2.3	1,324	31.1	1,272	28.7	771	63.5

（注）包括利益 30年3月期第2四半期 869百万円（△37.8%） 29年3月期第2四半期 1,397百万円（169.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27.55	27.55
29年3月期第2四半期	30.29	30.29

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,040	40.3	9,338	40.3		
29年3月期	21,687	37.5	8,962	37.5		

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 8,483百万円 29年3月期 8,137百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	3.5	2,800	10.0	2,800	7.0	1,700	7.0	66.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名） 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	27,732,622株	29年3月期	27,732,622株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,183,448株	29年3月期	2,237,448株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	25,510,416株	29年3月期2Q	25,483,714株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな成長を受けて輸出や設備投資の増加基調が続き、企業収益や雇用情勢の改善を受けて個人消費も底堅く推移しました。一方で米国の政策動向や英国のEU離脱問題など不確実性も増えています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT関連などのサービスが拡大するとともに、AIを活用したサービスの開発が加速しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信分野）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外分野）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境分野）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育分野）」の4分野に特化することで他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような環境のもと当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ22百万円減少し、24,527百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ166百万円増加（前年同期比2.1%増）した一方で、販売費及び一般管理費が人件費の増加等により前年同期に比べ285百万円増加（前年同期比4.3%増）した影響で、営業利益は1,205百万円（前年同期比9.0%減）、経常利益は1,242百万円（前年同期比2.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は702百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）においては、ストック収益が着実に積み上がった結果、売上高は前年同期比38百万円増（0.3%増）の12,378百万円、営業利益は前年同期比121百万円増（18.1%増）の794百万円、経常利益は前年同期比142百万円増（20.9%増）の821百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比26百万円増（5.7%増）の491百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」が順調に拡大したほか、サーバー等の販売が好調に推移した結果、売上高は9,188百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は869百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

#### <フォーバルテレコムビジネスグループ>

光回線サービスやISPが順調に拡大した結果、売上高は7,253百万円（前年同期比4.3%増）、一方で印刷関連の子会社の売上が減少した影響で、セグメント利益は264百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

#### <モバイルショップビジネスグループ>

携帯販売台数が前年同期比11.6%増となり売上高は5,002百万円（前年同期比2.7%増）となりました。一方で主として店舗運営に関連してキャリアから受ける支援金の制度変更等により、セグメント利益は89百万円（前年同期比50.2%減）となりました。

#### <総合環境コンサルティングビジネスグループ>

再生可能エネルギー特別措置法（FIT法）改正の影響を受け太陽光システムの販売が減少した結果、売上高は2,490百万円（前年同期比23.5%減）、セグメント損失は53百万円（前年同期は6百万円の利益）となりました。

#### <その他事業グループ>

IT教育サービス事業で通信教育関連が好調に推移したほか、IT技術者派遣事業で派遣人員が増加した結果、売上高は593百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は65百万円（前年同期比59.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ647百万円減少し21,040百万円となりました。

流動資産は15,857百万円となり、前連結会計年度末比931百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金が552百万円、たな卸資産が112百万円減少したことによるものです。

固定資産は5,183百万円となり、前連結会計年度末比284百万円の増加となりました。これは主として無形固定資産が76百万円減少したのに対し、投資有価証券の時価上昇等により投資その他の資産が343百万円増加したことによるものです。

流動負債は9,419百万円となり、前連結会計年度末比1,047百万円の減少となりました。これは主として支払手形及び買掛金が715百万円、賞与引当金が191百万円減少したことによるものです。

固定負債は2,282百万円となり、前連結会計年度末比23百万円の増加となりました。

純資産は9,338百万円となり、前連結会計年度末比376百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益702百万円に対して配当金484百万円の支払いにより株主資本が259百万円、有価証券の時価上昇等でその他の包括利益累計額が86百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は5,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円の減少となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は909百万円(前年同期は66百万円の使用)となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が1,240百万円、売上債権の減少による資金の増加が514百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が716百万円、法人税等の支払額が497百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は391百万円(前年同期比8.6%増)となりました。これは主として投資有価証券の取得による支出が276百万円、貸付けによる支出が117百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は579百万円(前年同期比13.1%増)となりました。これは主として配当金の支払額が482百万円、非支配株主への配当金の支払額が59百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に対して減少しておりますが、期初に想定した範囲内で順調に推移しており、平成29年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,996,665	5,936,341
受取手形及び売掛金	5,745,716	5,193,006
商品及び製品	976,169	826,756
仕掛品	43,231	60,655
原材料及び貯蔵品	69,568	88,906
その他	4,054,747	3,855,828
貸倒引当金	△97,097	△104,200
流動資産合計	16,789,000	15,857,293
固定資産		
有形固定資産	460,419	478,466
無形固定資産		
のれん	151,620	106,103
その他	584,486	553,478
無形固定資産合計	736,106	659,581
投資その他の資産		
投資有価証券	1,639,372	1,904,816
その他	2,508,680	2,608,229
貸倒引当金	△446,027	△467,869
投資その他の資産合計	3,702,025	4,045,177
固定資産合計	4,898,551	5,183,225
資産合計	21,687,552	21,040,518
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,263,822	4,547,953
短期借入金	590,263	561,549
未払金	1,859,322	1,993,456
未払法人税等	515,524	405,252
賞与引当金	628,089	436,605
役員賞与引当金	182,447	87,359
返品調整引当金	10,197	10,433
その他	1,416,898	1,376,811
流動負債合計	10,466,565	9,419,421
固定負債		
長期借入金	6,551	600
退職給付に係る負債	2,147,658	2,204,276
持分法適用に伴う負債	35,811	10,393
その他	68,755	67,205
固定負債合計	2,258,776	2,282,475
負債合計	12,725,341	11,701,896

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,275,627	2,287,794
利益剰余金	2,340,800	2,559,104
自己株式	△1,211,968	△1,182,717
株主資本合計	7,554,754	7,814,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	688,921	764,712
為替換算調整勘定	△14,241	△15,206
退職給付に係る調整累計額	△92,190	△80,175
その他の包括利益累計額合計	582,489	669,329
新株予約権	22,157	32,149
非支配株主持分	802,809	822,666
純資産合計	8,962,210	9,338,622
負債純資産合計	21,687,552	21,040,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	24,550,196	24,527,858
売上原価	16,575,700	16,386,667
売上総利益	7,974,495	8,141,190
販売費及び一般管理費	6,649,562	6,935,477
営業利益	1,324,933	1,205,712
営業外収益		
受取利息	3,532	3,500
受取配当金	11,004	16,938
違約金収入	38,905	67,919
その他	18,360	29,127
営業外収益合計	71,802	117,486
営業外費用		
支払利息	5,395	5,241
為替差損	25,342	—
貸倒引当金繰入額	41,706	47,579
持分法による投資損失	34,436	22,815
その他	16,920	5,317
営業外費用合計	123,801	80,954
経常利益	1,272,934	1,242,244
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	5,550	—
特別利益合計	5,550	0
特別損失		
固定資産除売却損	168	1,765
投資有価証券評価損	1,501	—
減損損失	2,559	113
その他	—	136
特別損失合計	4,230	2,015
税金等調整前四半期純利益	1,274,254	1,240,229
法人税、住民税及び事業税	308,930	407,528
法人税等調整額	101,711	49,716
法人税等合計	410,642	457,244
四半期純利益	863,612	782,984
非支配株主に帰属する四半期純利益	91,741	80,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	771,871	702,712



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	863,612	782,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	531,817	75,790
退職給付に係る調整額	11,129	12,014
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,972	△965
その他の包括利益合計	533,974	86,840
四半期包括利益	1,397,587	869,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,305,846	789,553
非支配株主に係る四半期包括利益	91,741	80,272

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,274,254	1,240,229
減価償却費	157,680	168,558
減損損失	2,559	113
のれん償却額	62,256	45,517
貸倒引当金の増減額(△は減少)	61,300	28,944
賞与引当金の増減額(△は減少)	△95,251	△191,483
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△86,659	△95,088
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9,900	73,936
受取利息及び受取配当金	△14,537	△20,439
支払利息	5,395	5,241
持分法による投資損益(△は益)	34,436	22,815
固定資産除売却損益(△は益)	168	1,764
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,550	136
投資有価証券評価損益(△は益)	1,501	—
売上債権の増減額(△は増加)	559,199	514,684
たな卸資産の増減額(△は増加)	△90,030	112,650
前払費用の増減額(△は増加)	△207,481	13,368
仕入債務の増減額(△は減少)	△557,955	△716,739
未払金の増減額(△は減少)	△162,022	143,622
その他	△190,478	42,666
小計	738,886	1,390,499
利息及び配当金の受取額	15,222	21,535
利息の支払額	△5,333	△5,215
法人税等の支払額	△815,368	△497,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,593	909,337
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△60,907	△87,322
無形固定資産の取得による支出	△217,887	△65,832
投資有価証券の取得による支出	△20,424	△276,342
投資有価証券の売却による収入	9,214	2,452
貸付けによる支出	△8,167	△117,700
貸付金の回収による収入	11,122	178,863
その他	△73,440	△25,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360,490	△391,400

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△12,198	△4,665
自己株式の取得による支出	△31	—
配当金の支払額	△392,482	△482,100
非支配株主への配当金の支払額	△48,386	△59,913
その他	△9,496	△3,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512,594	△579,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,186	1,460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△949,865	△60,324
現金及び現金同等物の期首残高	5,680,826	5,921,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,730,961	5,861,141

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,900,857	6,955,865	4,872,502	3,254,013	23,983,239	566,957	24,550,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	267,863	305,627	9,862	5,735	589,088	21,225	610,314
計	9,168,721	7,261,492	4,882,364	3,259,748	24,572,327	588,182	25,160,510
セグメント利益	847,092	299,260	179,861	6,174	1,332,389	41,242	1,373,631

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,332,389
「その他」の区分の利益	41,242
セグメント間取引消去	9,301
のれん償却額	△57,999
四半期連結損益計算書の営業利益	1,324,933

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては145千円であります。

また、処分を予定している事業用資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,250千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては163千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,188,415	7,253,602	5,002,764	2,490,050	23,934,832	593,025	24,527,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	259,380	314,450	9,116	27,643	610,590	18,926	629,516
計	9,447,795	7,568,052	5,011,880	2,517,693	24,545,422	611,952	25,157,374
セグメント利益又は損 失(△)	869,821	264,547	89,591	△53,753	1,170,207	65,756	1,235,963

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,170,207
「その他」の区分の利益	65,756
セグメント間取引消去	3,468
のれん償却額	△33,719
四半期連結損益計算書の営業利益	1,205,712

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては113千円であります。